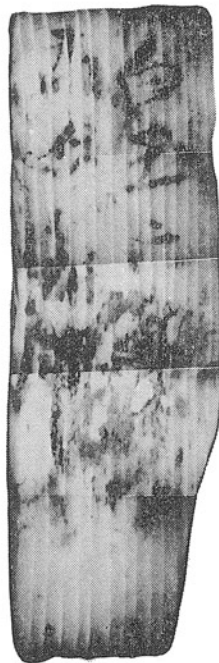


跡出土の「白玉帯」との関連が注目される。(2)は食料の支給帳簿と考えられる。裏面二字めは「進」または「近」の可能性があるが、「友近」と読めれば、支給責任者の自署か。(3)は、(2)と同一木簡の一部と思われるが、内容は不明である。(4)は、表面の斗量と裏面の人名と思われる記載から、食品請求または貢進に関わる木簡と考えられる。(5)は、内容が不明である。

なお、木簡の釈読・内容については国立歴史民俗博物館の平川南氏のご教示を得た。

(副島和明)



(1) 裏赤外線写真

第九回「大学と科学」公開シンポジウム

古代に挑戦する自然科学 開催のお知らせ

日時 一九九五年二月一日(水)～二日(木)
場所 有楽町朝日ホール(東京都千代田区有楽町二一五) 有楽町マリオン二F

主催 第九回「大学と科学」公開シンポジウム組織委員会
後援 文部省、木簡学会 他
内容 ▼二月一日(水) 一〇時一〇分～一六時三〇分

・総合講演 古代への挑戦 (司会) 田中 琢
・古代遺産への挑戦 (司会) 加藤 晋平
・掘らずに遺跡を探る 西村 康
・藤ノ木古墳の金よみがえる 沢田 正昭

・古代生活への挑戦 (司会) 佐原 真
・稲作の起源を求めて 松井 宏志
・トイレ考古学のはじまり 鈴木 隆雄

骨から病氣を読む
▼二月二日(木) 一〇時～一六時三〇分 (司会) 馬淵 久夫
・古代手工業への挑戦 永嶋 正春
・古代漆の源流 肥塚 隆保

・古代ガラスの材質 村上 隆
・古代金工のハイテク (司会) 戸沢 充則
・古代環境への挑戦 那須 孝悌

・古代環境を読む 森 勇一
・珪藻類・昆虫化石からわかること 南川 雅男
骨から食物を読む

申込先 葉書に『古代に挑戦する自然科学』参加希望とお書きの上、氏名・郵便番号・住所(自宅か勤務先か明記)・職業を明記して、一九九五年一月二日(土)までに左記宛お申し込みください。聴講無料。希望者多数の場合は抽選になります。

〒一〇二 東京都千代田区飯田橋四一六五 TH第四ビル四F

クパプロ内『古代に挑戦する自然科学』事務局

TEL 〇三―三三三八―一六八九